

令和二年度

奥の細道矢立初めの地

子ども俳句相撲大会 句集

俳句のまちあらかわ



桃太郎

主催 荒川区

荒川区教育委員会

日時 令和三年三月実施

奥の細道

子句
大し

—松尾芭蕉「おくのほそ道」 旅立ち

千じゆと云所にて船をあがれば、前途三千里のおもひ胸にふさがりて、幻の

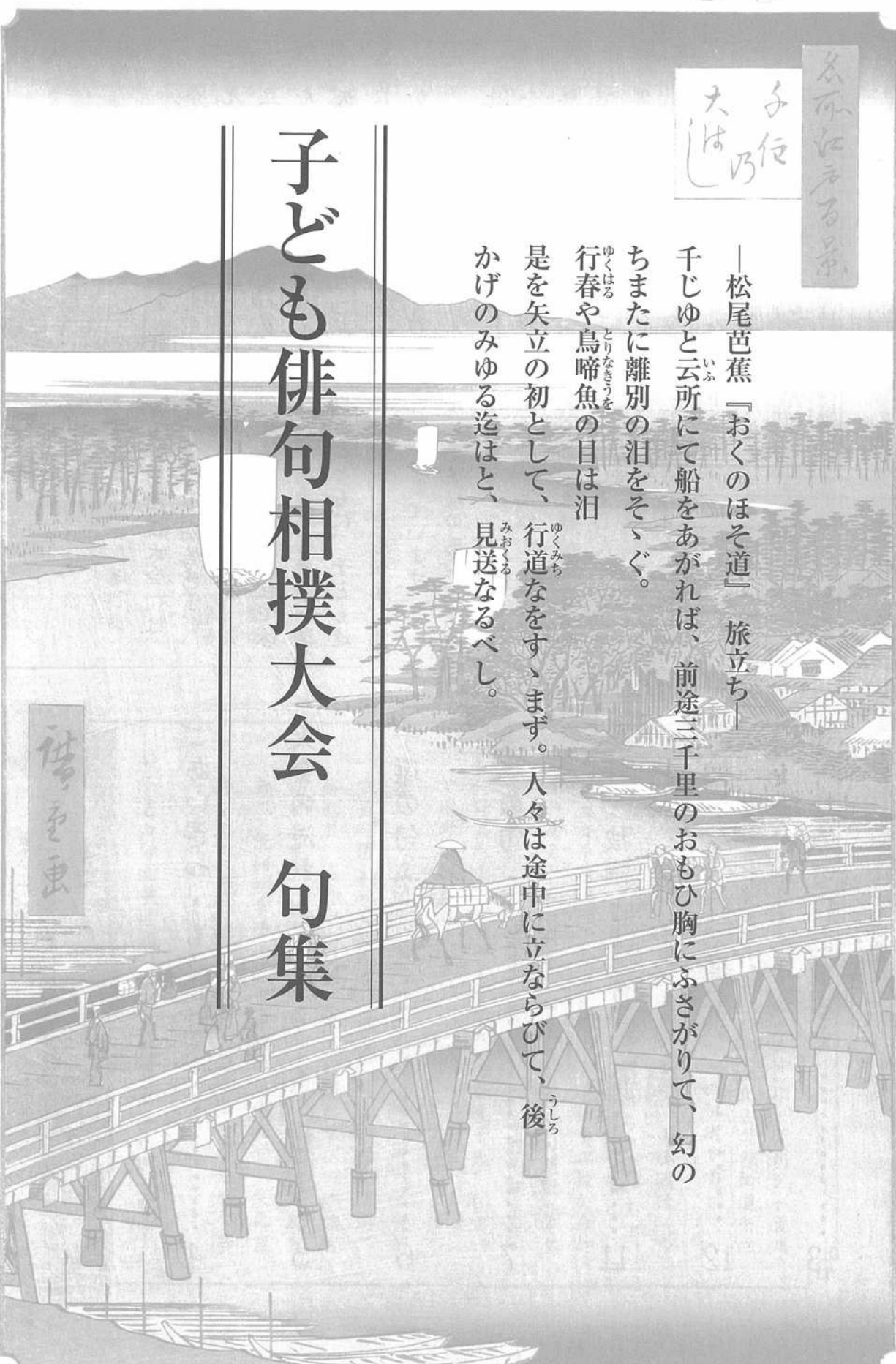
ちまたに離別の泪をそぐ。

行春や鳥啼魚の目は泪

是を矢立の初として、行道なをす、まず。人々は途中に立ならびて、後

かげのみゆる迄はと、見送なるべし。

子ども俳句相撲大会 句集



俳句を東

下魚栄

「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」は、今回で十二回目を迎えます。この大会は、松尾芭蕉が、元禄二年（一六八九）三月に奥の細道に旅立つ際、矢立初めの句「行く春や鳥啼魚の目は泪」を南千住で詠んだことにちなんで誕生しました。南千住が奥の細道矢立初めの地であることを広めるとともに、子ども達に日本の伝統文化である俳句の素晴らしさを伝え、豊かな感性と表現力を育むことを目的としています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、例年のように、選手の俳句パフォーマンスを会場で披露することができません。代わりに予選を勝ち抜いた子どもたちが決勝句を描いた模造紙を書面で審査して順位を決め、句集を作成しました。小学生俳人たちの力作をお楽しみ下さい。また上位入賞チームは、感染防止対策をした上で撮影を行い、後日動画を配信いたします。ぜひご覧ください。

結びに、本大会の開催にあたりましてご協力いただきました関係者のみなさまに厚く御礼申し上げます。

令和三年三月 荒川区 荒川区教育委員会

大会の流れ

予選

二人一組で1チームを作り一人一句の俳句を作成。荒川区は応募があった55チームの中から13チーム、大垣市は推薦の1チームが、決勝に進出

決勝

予選を勝ち進んだ14チームによる決勝。模造紙に書いた俳句作品を、審判員の点数の合計で判定。横綱（優勝）、東の大関（準優勝）、西の大関（三位）、関脇（四位）、小結・殊勲賞・敢闘賞・技能賞等があり、審判長・審判の審査により決定

ごあいさつ・もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

大会の流れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

予選の句・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6

決勝の句・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

総評・披講・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

芭蕉さんへのご報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

荒川区俳句のまち宣言・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

・本誌は、令和三年（二〇二二）に、荒川区・荒川区教育委員会主催により開催した「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」の句集です。

・本大会の句は、予選は「春の季節」、決勝戦は「つばめ」「春の山」の兼題をもとに作られています。

・本大会予選には、荒川区内の小学校十二校から計五十五チームの応募があり、荒川区俳句連盟（佐々木忠利氏、小松孝子氏、小林和夫氏、寺田千賀子氏、竹野美恵子氏、吉田美智子氏、田中礼子氏）によって選考が行われました。

・審判長 対馬康子先生（俳人、現代俳句協会副会長、俳誌『麦』会長、俳誌『天為』最高顧問）。
審判員 名和永山先生（奥の細道むすびの地俳句協会会長）、佐々木忠利先生（荒川区俳句連盟会長）、能圓坊貴子氏（素盞雄神社権禰宜、文化室学芸員）、荒川区、荒川区教育委員会が決勝の審判を務めました。

・予選の句は学区順、決勝の句は獲得点順（賞順）になっています。

予選の句

(順不同・学区順)

はるきたらみんなうれし入学だ	はるきたらみんなすすむよいつぽずつ	じゅり&さくら (三瑞小)
うぐいすがかくれんぼしてあそんでる	なみ木道さくらのちりがまいおどる	ほしの子2 (三瑞小)
なみき道さくらで道はピンク色	ゆりの花大きな顔で笑ってる	あさ花チーム (汐入東小)
新緑のかおりすいこむまどべから	入学式ピンクにそまる一年生	虹 (二峡小)
春の日に桜葉 <small>しん</small> 降る夏が来る	花びらが風につけて旅をする	Nature (九峡小)
月光りひらり舞い散る桜花	まだ白く土におりたつおちつばき	まいおりてきらりと輝く花々よ (九峡小)
母の手をひっぱって行く花の道	とぼとぼとせつなき夜の恋の猫	渡辺姉妹 (尾久小)
わが心天地の間の花曇り	一歩ずつ桜のじゅうたんふんでゆく	Y・K (尾久六小)
桜咲き心のスイッチ切りかえる	川の道花が咲いて春の川	まこさな (尾久六小)
お花見で楽しい思い出作りたい	桜さく初めてせおうランドセル	尾久六ノーベル (尾久六小)
あれはなにピンクの花びらちっていく	もんしろちようキャベツの上でまいおどる	カレーライス大盛り (尾久六小)
クローバー幸せ運ぶ切符だよ	そよ風がきれいな高木をわさわさと	チョコチップ (尾久宮前小)
はるのときさくらがさくのたのしみだ	さくらはねみんなのころろごかすよ	さくらふぶき (三日小)
愛犬がおすわりをして花盛り	桜貝砂から顔上げ空見上げ	静里山 (大垣市静里小)

決勝の句

静里山

しずさとやま

大垣市立静里小学校

岩永

丈太郎さん

廣畑

裕美子さん

【チーム名由来】静里小学校で、俳句の勉強をがんばってきました。「静里山」は静里小で俳句の勉強をがんばってきた思い出をこめています。

【意気込み】静里小を代表して俳句をつくりました。この俳句で優勝目指してがんばります。

城下町見下ろして、いるつばめの子

プルプルと空気ゆらして燕の子

審判長コメント

つばめの子と城下町の取り合わせ、またつばめが飛ぶ様子を「プルプルと空気ゆらして」と表現したところに独自の目線があります。横綱おめでとうございます。(対馬康子)

東の大関 (準優勝)

渡辺姉妹

荒川区立尾久小学校
渡辺 雛子さん
渡辺 夕鶴さん

【チーム名由来】姉妹だから。
【意気込み】一昨年、去年と決勝に進んだので、今年も進みたいです。

青空を自由自在のつばめ達

ピロティの天井つばめの予約席

小結 ほしの子2

荒川区立第三瑞光小学校(佐藤 円花さん/村谷 初音さん)
【チーム名由来】昨年「ほしの子」でおうほし、予せんにかつて出ることになったけれど出れなかったのもう一度「2」として出ることになりました。
【意気込み】昨年は出れなかったけど、今年こそ出てゆうしゅうしたいです

また来たねあいたかたよつばめさん

つばめの子身をひるがえし大空へ

殊勲賞 あさ花チーム

荒川区立沙入東小学校(佐藤 咲月さん/浅田 風香さん)
【チーム名由来】「あさ」はあさだの「あ」さとうの「さ」で、二人ともはいくが花に関係しているから
【意気込み】決勝までいけるようにいいはいくをつくらう!

春の山白髪が消えたうれしいな

海が風ぎぎの鏡に白と黒

西の大関 (三位)

わい けい Y・K

荒川区立尾久第六小学校
宮崎 有宇さん
西村 香帆さん

【チーム名由来】二人の名前の頭文字
【意気込み】Wパワーでがんばるぞ!

燕来て新たな自分と巡り合う

太陽の光で照らす春の山

敢闘賞 虹

荒川区立第二峡田小学校(堀 加奈萌さん/野口 結菜さん)
【チーム名由来】どこまでものびていくことから
【意気込み】俳句が好きなので、優勝できるようにがんばります

軒先のつばめの巣みて 春相ペラ

つばめでく命のバトン 子ツバメよ

敢闘賞 さくららぶぶき

荒川区立第三日暮里小学校(青芝 航輝さん/青芝 拓飛さん)
【チーム名由来】桜の季節にびったりのチーム名だから
【意気込み】ほかのひとにまけないようにがんばる

はるの山 お花のパティーたのしいな

はるの山花のクローゼット すてきだね

核能賞 チョコチップ

荒川区立尾久宮前小学校(今池 夏梨さん/斉藤 莉梨奈さん)
【チーム名由来】二人ともチョコチップのように、相性がよく仲良しだからです!
【意気込み】横綱になりたいです!二人で一生懸命つくった俳句をぜひみてほしいです!

春の山努力実ってまた一歩

春の山ぜんまいとりに無我夢中

関脇 (四位)

まいおりて きらりと輝く花々よ
【チーム名由来】作った俳句を元にし、二人のを合わせました。
【意気込み】少しでも上に行けるようがんばりました。ゆうしゅうできるようにがんばりたいです。

コンビニに作り始めるつばめたち

美しくもも色染まる春の山

西の大関

東の大関 (準優勝)

渡辺姉妹

荒川区立尾久小学校
渡辺 雛子さん
渡辺 夕鶴さん

【チーム名由来】姉妹だから。
【意気込み】一昨年、去年と決勝に進んだので、今年も進みたいです。

青空を自由自在のつばめ達

ピロティの天井つばめの予約席

小結 ほしの子2

荒川区立第三瑞光小学校(佐藤 円花さん/村谷 初音さん)
【チーム名由来】昨年「ほしの子」でおうほし、予せんにかつて出ることになったけれど出れなかったのもう一度「2」として出ることになりました。
【意気込み】昨年は出れなかったけど、今年こそ出てゆうしゅうしたいです

また来たねあいたかたよつばめさん

つばめの子身をひるがえし大空へ

殊勲賞 あさ花チーム

荒川区立沙入東小学校(佐藤 咲月さん/浅田 風香さん)
【チーム名由来】「あさ」はあさだの「あ」さとうの「さ」で、二人ともはいくが花に関係しているから
【意気込み】決勝までいけるようにいいはいくをつくらう!

春の山白髪が消えたうれしいな

海が風ぎぎの鏡に白と黒

西の大関 (三位)

わい けい Y・K

荒川区立尾久第六小学校
宮崎 有宇さん
西村 香帆さん

【チーム名由来】二人の名前の頭文字
【意気込み】Wパワーでがんばるぞ!

燕来て新たな自分と巡り合う

太陽の光で照らす春の山

敢闘賞 虹

荒川区立第二峡田小学校(堀 加奈萌さん/野口 結菜さん)
【チーム名由来】どこまでものびていくことから
【意気込み】俳句が好きなので、優勝できるようにがんばります

軒先のつばめの巣みて 春相ペラ

つばめでく命のバトン 子ツバメよ

敢闘賞 さくららぶぶき

荒川区立第三日暮里小学校(青芝 航輝さん/青芝 拓飛さん)
【チーム名由来】桜の季節にびったりのチーム名だから
【意気込み】ほかのひとにまけないようにがんばる

はるの山 お花のパティーたのしいな

はるの山花のクローゼット すてきだね

核能賞 チョコチップ

荒川区立尾久宮前小学校(今池 夏梨さん/斉藤 莉梨奈さん)
【チーム名由来】二人ともチョコチップのように、相性がよく仲良しだからです!
【意気込み】横綱になりたいです!二人で一生懸命つくった俳句をぜひみてほしいです!

春の山努力実ってまた一歩

春の山ぜんまいとりに無我夢中

幕入賞

じゅり&さくら

荒川区立第三瑞光小学校 (曾根原 さくらさん/樽谷 樹里さん)

【チーム名由来】なまえをくみあわせてつくりました。

【意気込み】二人でがんばってかいたはいくだから、決勝までいきたいです。

空を切る 今年も来たね つばめさん

春の山満開の花 夢も咲く

ねいちやー
Nature

荒川区立第九峡田小学校 (藤嶋 咲良さん/内山 柚香さん)

【チーム名由来】私たちの名前は植物を感じられるからです。植物は自然というイメージなので「Nature」にしました。

【意気込み】俳句の横綱がとれるようにがんばります

燕の子 巣だけ残して 旅に出る

空見れば 大人になつた 燕たち

総評

審判長 対馬康子

長いコロナ下の生活において、子どもたちにとって面白いへんな日々が続いています。その中で、今回で十二回目となる「奥の細道矢立初めの地子ども俳句相撲大会」にたくさんの投句がありとても嬉しく思いました。一堂に会して土俵での千秋楽を見ることはできませんでしたが、私にはいつものように皆さんの元気なパフォーマンスが目にかびました。

静里山チーム横綱おめでとう。大垣のチームは言葉選びが鍛えられていていつも感心します。東西大関の渡辺姉妹とY・Kチーム始め、荒川区の子どもたちの俳句にも春の町に飛来するつばめにも負けないエネルギーがありました。ピロティ、コンビニ、クローゼットなど生活に身近な目線で俳句の種を拾っているのが良かったです。また、俳句を詠むのは明るい気持ちだけではありません。まこさなチームの句の「むなさわざ」という言葉に、子どもながらの複雑な思いが表れていて印象に残りました。

俳句はこころを詠むものです。そして日本には四季があります。その思いを十七音にしましょう。松尾芭蕉のご縁に導かれ、来年の大会で元気に再会できますことを楽しみにしています。

まこさな

荒川区立尾久第六小学校 (小林 真子さん/嶋岡 咲那さん)

【チーム名由来】小林真子の「まこ」と、嶋岡咲那の「さな」で、まこさなです。

【意気込み】絶対勝つぞ！

ある朝に燕の巣立ちむなさわざ

木々の葉が鮮やかに変わり春の山

尾久六ノobel

荒川区立尾久第六小学校 (中村 大蔵さん/斉藤 葉さん)

【チーム名由来】ノobelのように句でいいたいになりたいたいから

【意気込み】ノobel目指してがんばるぞー

春の山 桃色 なりて 若々しい

空高いて つばめと共に歩んでく

カレイライス大盛り

荒川区立尾久第六小学校 (佐藤 利玖さん/石田 琴音さん)

【チーム名由来】カレイライスが好きだから

【意気込み】優勝とるぞー

春の山のぼれば 絶景 目えアくる

巣立ちの日 見守る僕と 親つばめ

披講

よき言葉よき音のして初蝶来 対馬康子

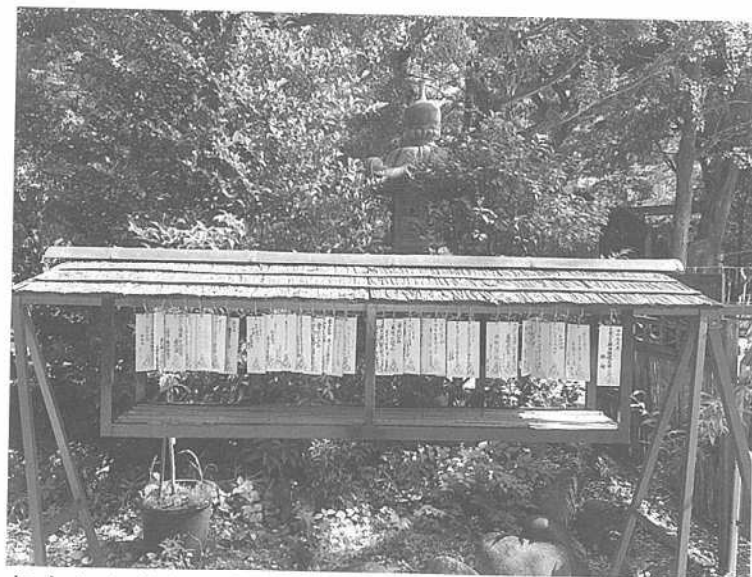
矢立の地芭蕉はげまし飛ぶつばめ 名和永山

下萌や風棲む土手の日の匂ひ 佐々木忠利

自注

隅田川の対岸の土手は風が強く住み着いているような様子と日が当たり匂うような感じを詠んでみました。下萌は土を割って草の芽が出てくる状態を云いますが、長い忍従の冬から解放され躍動する息吹に春を感じました。

芭蕉さんへのご報告



報告した俳句の木札は、素盞雄神社境内に飾られました（昨年の様子）

松尾芭蕉が千住から旅立って、約百三十年後、文政三年（一八二〇）十月十二日の芭蕉忌に、千住大橋に程近い素盞雄神社に、千住の人々によって芭蕉の奥州への旅立ちを記念した松尾芭蕉の碑が建てられました。芭蕉の座像と「おくの細道」千住の一説が刻まれています。

子ども俳句相撲大会では、決勝戦用の俳句を素盞雄神社からいただいた木札に書いて、大会審判の先生方ともに、代表チームが松尾芭蕉の碑に報告しています。



松尾芭蕉の碑と俳句の木札

荒川区俳句のまち宣言

「行春や鳥啼魚の目は泪」

元禄2年3月この句を矢立初めの句として松尾芭蕉はその生涯をかけ「奥の細道」へと旅立ちました芭蕉が渡った千住大橋は江戸と東北の地を結び私たちが俳句の世界へといざなう大橋として昔もいまもこれからも隅田川に架かります

私たちの暮らすまちには人々が行き交い芭蕉の想いと四季折々の美しさに導かれ子規が一茶が山頭火がこの地で俳句を詠みました

「五・七・五」17文字の無限に広がる世界の中で私たちは想いを伝える力を持ちます新しいものを創りだす力を持ちます世界中の人たちと心をつなぐ力を持ちます

荒川区は

俳句の魅力を次代につなぐ架け橋として子どもから大人まで俳句文化のすそ野をひろげ豊かな俳句の心を未来に伝えることを誓い「俳句のまちあらかわ」を宣言します



大会キャラクター「ばしょうくん」

奥の細道 矢立初めの地 千住あらかわ

表紙 相撲錦絵「桃太郎・怪童丸」(部分)香蝶楼豊国画(国立国会図書館蔵)
扉 名所江戸百景「千住の大はし」歌川広重(荒川ふるさと文化館蔵)
裏表紙 大会キャラクター「ばしょうくん」

令和二年度 奥の細道矢立初めの地
子ども俳句相撲大会 句集

令和三年三月

編集 荒川区立荒川ふるさと文化館
〒一六〇〇〇三
荒川区南千住六―六三―一
TEL〇三―三八〇七―九二三四
発行 荒川区・荒川区教育委員会
印刷 株式会社 技秀堂
登録番号 (02) 0084号